



2023年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年5月15日
上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社
 コード番号 4543 URL <https://www.terumo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 慎次郎
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 畑 謙一 (TEL) 03-6742-8550
 定時株主総会開催予定日 2023年6月27日 配当支払開始予定日 2023年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	820,209	16.6	117,332	1.2	116,137	1.4	89,325	0.6	89,325	0.6	176,415	△1.1
2022年3月期	703,303	14.6	115,960	17.9	114,501	18.0	88,813	15.0	88,813	14.9	178,394	54.1

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	119.00	118.95	8.4	7.6	14.3
2022年3月期	117.45	117.38	9.5	8.1	16.5

(参考) 持分法による投資損益 2023年3月期 171百万円 2022年3月期 440百万円
 調整後営業利益 2023年3月期 138,025百万円 2022年3月期 134,441百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	1,602,225	1,111,063	1,111,063	69.3	1,492.15
2022年3月期	1,473,693	1,012,313	1,012,313	68.7	1,338.46

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	117,536	△59,121	△86,559	187,322
2022年3月期	141,467	△78,454	△70,879	205,251

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00	25,714	28.9	2.8
2023年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00	29,946	33.6	2.8
2024年3月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00		32.4	

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後 営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	854,000	4.1	151,000	9.4	132,500	12.9	101,000	13.1	135.64

・通期業績予想前提レート：1ドル=130円、1ユーロ=145円

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 - 社（社名） -、除外 1 社（社名）テルモ山口D&D株式会社

(注) 特定子会社であったテルモ山口D&D株式会社は、2022年10月1日付で当社の子会社であるテルモ山口株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期	747,682,540株	2022年3月期	759,521,040株
2023年3月期	3,074,907株	2022年3月期	3,194,976株
2023年3月期	750,614,507株	2022年3月期	756,209,050株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料] 5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

2. 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結財政状態計算書	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結持分変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	17
(非金融資産の減損)	18
(重要な後発事象)	18
4. その他	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループでは、2021年12月に次の5カ年を対象とする成長戦略を策定しました。高齢化社会における慢性疾患との共生や、ゲノム医療とAIの進化による個別化医療の本格普及といった、医療のパラダイムシフトに対応するための中長期ビジョンとして、「デバイスからソリューションへ」を掲げました。製品軸から顧客軸へフォーカスを移し、医療のエコシステム全体とより積極的にかかわることで、顧客の課題に複合的なソリューションを提案できる企業を目指して経営を推進しています。初年度となった当期の連結業績は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く伸長率 (%)
売上収益	703,303	820,209	16.6	5.4
売上総利益	369,341	417,369	13.0	2.4
調整後営業利益	134,441	138,025	2.7	△6.1
営業利益	115,960	117,332	1.2	△5.4
税引前利益	114,501	116,137	1.4	—
当期利益	88,813	89,325	0.6	—
親会社の所有者に帰属する当期利益	88,813	89,325	0.6	—

当期の地域別売上収益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

地域	前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く伸長率 (%)
日本	206,143	207,385	0.6	0.6
欧州	140,417	160,017	14.0	4.9
米州	220,400	286,580	30.0	8.6
中国	59,350	71,946	21.2	7.2
アジア他	76,991	94,279	22.5	9.1
海外計	497,159	612,823	23.3	7.5
合計	703,303	820,209	16.6	5.4

<売上収益>

売上収益は、前期比16.6%増の8,202億円となりました。

日本は、COVID-19の影響を受けて医療需要の回復が遅れたものの、製薬企業との提携ビジネスであるファーマシューティカルソリューション事業や、血管事業の新製品売上が好調に推移し、前期比0.6%の増収となりました。

海外は、中国等においてCOVID-19の局地的な影響はあったものの、全体では医療需要の回復が進み、血管事業を中心に全カンパニーが二桁伸長した結果、前期比23.3%の増収となりました。

<利益>

売上総利益は、マクロ環境の悪化による製造費の増加を、増収効果と販売価格の値上げにより一部相殺し、前期比13.0%増の4,174億円となりました。

調整後営業利益は、販売費及び一般管理費が円安の影響で増加したものの、費用コントロールの厳格化により一部相殺し、前期比2.7%増の1,380億円となりました。

同様に、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は、いずれも増益となりました。

なお、当社グループは、当社グループが適用する会計基準であるIFRSにおいて定義されていない、調整後営業利益という業績管理指標を追加的に開示しております。調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益であり、セグメント利益と一致しています。

調整後営業利益は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するため

に経営管理に利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

報告セグメントの名称		前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
心臓血管カンパニー	売上収益	397,130	480,610	21.0	7.0
	(日本)	51,144	51,900	1.5	1.5
	(海外)	345,986	428,709	23.9	7.8
メディカルケアソリューションズ カンパニー	売上収益	185,335	191,749	3.5	0.3
	(日本)	142,735	143,502	0.5	0.5
	(海外)	42,599	48,247	13.3	△0.6
血液・細胞テクノロジーカンパニー	売上収益	120,586	147,605	22.4	8.4
	(日本)	12,012	11,738	△2.3	△2.3
	(海外)	108,573	135,866	25.1	9.5

<心臓血管カンパニー>

日本は、COVID-19の再拡大の影響を受け、需要の減少が見られたものの、薬剤溶出型冠動脈ステントや胸部大動脈ステントグラフト等の新製品が売上を伸ばし、増収となりました。

海外は、医療需要の順調な回復と成長軌道への回帰が見られ、米国で相次いで新製品を発売し売上を拡大した血管事業を中心に、全事業が好調でした。

その結果、心臓血管カンパニーの売上収益は前期比21.0%増の4,806億円となりました。

<メディカルケアソリューションズカンパニー>

主要な市場である日本においては、COVID-19の再拡大の影響を受けましたが、ホスピタルケアソリューション事業の癒着防止材やプレフィルドシリンジ製剤の新製品が売上を伸ばしました。また、製薬企業との提携ビジネスであるファーマシューティカルソリューション事業の売上が、グローバルで好調に推移しました。

その結果、メディカルケアソリューションズカンパニーの売上収益は前期比3.5%増の1,917億円となりました。

<血液・細胞テクノロジーカンパニー>

日本は、血液センター向け製品において、血液バッグの需要が減少し、減収となりました。

海外は、アジア他における輸血需要の回復や、北米における成分採血装置の好調な需要が牽引し、大幅な増収となりました。

その結果、血液・細胞テクノロジーカンパニーの売上収益は前期比22.4%増の1,476億円となりました。

（2）当期の財政状態の概況

資産合計は、1,285億円増加して1兆6,022億円となりました。これは主に、為替相場が円安に推移した影響及び事業規模の拡大等により棚卸資産が511億円増加、同様の為替の影響及び生産設備や新ITシステムへの投資等により、有形固定資産が370億円増加、のれん及び無形資産が234億円増加した一方で、自己株式の取得等により現金及び現金同等物が179億円減少したことによるものです。

負債合計は、298億円増加して4,912億円となりました。これは主に、上記同様の為替の影響等により社債及び借入金が59億円増加、為替の影響及び原材料仕入等により営業債務及びその他の債務が162億円増加したことによるものです。

資本合計は、987億円増加して1兆1,111億円となりました。これは主に、当期利益の計上により893億円増加、上記同様の為替の影響等に伴うその他の包括利益の計上により871億円増加した一方で、自己株式の取得により501億円減少、剰余金の配当により279億円減少したことによるものです。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

（単位：百万円）

	2022年3月期	2023年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,467	117,536	△23,931
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,454	△59,121	19,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,879	△86,559	△15,679
現金及び現金同等物の期末残高	205,251	187,322	△17,929

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,175億円となりました。税引前利益1,161億円、減価償却費及び償却費702億円、棚卸資産の増加393億円、法人所得税の支払額277億円が主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、591億円となりました。生産設備等への投資に伴う有形固定資産の取得による支出527億円、新ITシステムへの投資等に伴う無形資産の取得による支出195億円が主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、866億円となりました。自己株式の取得による支出501億円、配当金の支払額279億円が主な要因です。

また、上記に加えて、現金及び現金同等物に係る換算差額により102億円増加した結果、現金及び現金同等物の当連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より179億円減少して1,873億円となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
親会社所有者帰属持分比率(%)	63.4	68.7	69.3
時価ベースの会社所有者帰属持分比率(%)	223.8	191.1	166.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.4	1.8	2.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	114.3	107.8	85.6

（注）親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分／資産合計

時価ベースの親会社所有者帰属持分比率：株式時価総額／資産合計

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×自己株式控除後期末発行済株式総数により算出しております。

※ キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結財政状態計算書に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4）今後の見通し

2023年度は、医療需要が成長軌道に回帰しつつあり、欧米に加えて中国、日本においても売上収益の拡大が見込まれます。マクロ環境は一部で好転する兆しが見える一方、依然、原材料価格や電気・ガス等のエネルギー関連費用のさらなる高騰等、厳しさが続くと思われています。このような環境下において、業績予想には、価格政策のさらなる見直し（値上げ）や費用の効率的な運用、コスト削減策の前倒し等の対策を盛り込みました。一方で、成長が見込まれる分野においては、生産能力の拡大を中心とする設備投資を積極的に進めます。また、医療従事者の人員不足や業務効率化の推進等、医療現場の課題やニーズに向き合い、より複合的なソリューションの提供に挑戦していきます。

企業経営としては厳しい環境にありますが、これを機会と捉え、企業価値の向上にも積極的に取り組みます。2023年2月には4つの追加的な施策を打ち出しました。M&Aの積極化、収益性改善の加速、資本政策の強化、そしてサステナビリティ経営の推進です。サステナビリティ経営については、サステナビリティ委員会を2023年4月に発足し、5カ年成長戦略において掲げたESG・CSVの重点テーマにおける具体的な指標の設定と、その実行の後押しを担います。設定した指標は役員の業績報酬にも連動する仕組みを導入し、その実効性をさらに高めていきます。

2023年度の業績見通しは以下のとおりです。

<連結業績予想について>

(単位：百万円)

	2023年3月期 業績	2024年3月期 業績予想	増減額	増減率 (%)
売上収益	820,209	854,000	33,790	4.1
調整後営業利益	138,025	151,000	12,974	9.4
調整後営業利益率	16.8%	17.7%	-	-
営業利益	117,332	132,500	15,167	12.9
営業利益率	14.3%	15.5%	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	89,325	101,000	11,674	13.1

2023年3月期実績レート；1ドル=135円、1ユーロ=141円

2024年3月期想定レート；1ドル=130円、1ユーロ=145円

（5）利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、高い利益性と持続的な成長を確保するため、利益の再投資を適正かつ積極的に進め、企業価値の一層の増大を図っていきます。これは、株主の皆様の利益に適うものであり、投資価値の増大につながるものと考えております。

株主の皆様への利益分配につきましては、安定した増配に加えて、自己株式取得による還元も活用し、総還元性向として50%水準を目指してまいります。

当期の年間配当金につきましては、1株につき40円とする予定です。従って、期末配当金は、既にお支払いした中間配当金1株につき19円を差し引き、1株につき21円とする予定です。

次期の年間配当金につきましては、1株につき44円(うち中間配当金22円)を予定しております。

《おことわり》

当社の開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上及びグローバルでのルール統一による経営管理の精度向上とガバナンス強化を目的として、2018年3月期期末決算より、国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	(単位：百万円) 当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	205,251	187,322
営業債権及びその他の債権	135,998	150,635
その他の金融資産	63	106
棚卸資産	198,536	249,618
未収法人所得税等	778	2,920
その他の流動資産	18,086	20,793
流動資産合計	558,713	611,396
非流動資産		
有形固定資産	333,864	370,869
のれん及び無形資産	514,801	538,210
持分法で会計処理されている投資	4,133	3,680
その他の金融資産	25,937	34,421
繰延税金資産	20,198	20,458
その他の非流動資産	16,043	23,187
非流動資産合計	914,979	990,829
資産合計	1,473,693	1,602,225

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	81,545	97,736
社債及び借入金	1,121	11,223
その他の金融負債	7,228	7,597
未払法人所得税等	14,104	23,563
引当金	499	329
その他の流動負債	73,222	77,551
流動負債合計	177,721	218,001
非流動負債		
社債及び借入金	224,875	220,714
その他の金融負債	30,297	29,639
繰延税金負債	12,746	8,870
退職給付に係る負債	5,811	4,703
引当金	113	127
その他の非流動負債	9,813	9,106
非流動負債合計	283,658	273,161
負債合計	461,379	491,162
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	51,921	51,759
自己株式	△6,229	△11,539
利益剰余金	846,978	874,272
その他の資本の構成要素	80,926	157,855
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,012,313	1,111,063
資本合計	1,012,313	1,111,063
負債及び資本合計	1,473,693	1,602,225

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上収益	703,303	820,209
売上原価	333,962	402,839
売上総利益	369,341	417,369
販売費及び一般管理費	250,891	299,861
その他の収益	2,500	9,959
その他の費用	4,990	10,134
営業利益	115,960	117,332
金融収益	1,062	2,649
金融費用	2,961	4,016
持分法による投資損益 (△は損失)	440	171
税引前利益	114,501	116,137
法人所得税費用	25,687	26,811
当期利益	88,813	89,325
当期利益の帰属		
親会社の所有者	88,813	89,325
当期利益	88,813	89,325
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益 (円)	117.45	119.00
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	117.38	118.95

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期利益	88,813	89,325
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△29	2,519
確定給付制度の再測定	6,699	6,970
純損益に振り替えられることのない 項目合計	6,670	9,489
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	83,029	77,535
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△458	489
ヘッジコスト	340	△425
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	82,910	77,599
その他の包括利益	89,581	87,089
当期包括利益	178,394	176,415
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	178,394	176,415
当期包括利益	178,394	176,415

(注) 上記の計算書の項目は税引後で開示しております。

（3）連結持分変動計算書

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2021年4月1日時点の残高	38,716	51,829	△6,838	775,078	△2,123	856,662	856,662
当期利益	—	—	—	88,813	—	88,813	88,813
その他の包括利益	—	—	—	—	89,581	89,581	89,581
当期包括利益合計	—	—	—	88,813	89,581	178,394	178,394
自己株式の取得	—	—	△3	—	—	△3	△3
自己株式の処分	—	△10	49	—	△38	0	0
剰余金の配当	—	—	—	△23,440	—	△23,440	△23,440
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	6,527	△6,527	—	—
株式報酬取引	—	114	91	—	35	241	241
転換社債型新株予約権付社債の転換	—	△11	470	—	—	459	459
所有者との取引額合計	—	92	608	△16,913	△6,531	△22,742	△22,742
2022年3月31日時点の残高	38,716	51,921	△6,229	846,978	80,926	1,012,313	1,012,313
当期利益	—	—	—	89,325	—	89,325	89,325
その他の包括利益	—	—	—	—	87,089	87,089	87,089
当期包括利益合計	—	—	—	89,325	87,089	176,415	176,415
自己株式の取得	—	△56	△50,003	—	—	△50,059	△50,059
自己株式の処分	—	△17	138	—	△121	0	0
自己株式の消却	—	△44,430	44,430	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	△27,924	—	△27,924	△27,924
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	44,224	—	△44,224	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	10,116	△10,116	—	—
株式報酬取引	—	117	123	—	76	318	318
所有者との取引額合計	—	△162	△5,310	△62,031	△10,161	△77,665	△77,665
2023年3月31日時点の残高	38,716	51,759	△11,539	874,272	157,855	1,111,063	1,111,063

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	114,501	116,137
減価償却費及び償却費	58,882	70,238
減損損失	—	5,338
持分法による投資損益 (△は益)	△440	△171
退職給付に係る資産及び負債の増減額	646	1,427
受取利息及び受取配当金	△640	△1,620
支払利息	1,833	2,230
為替差損益 (△は益)	2,187	1,675
固定資産除売却損益 (△は益)	472	△5
事業等譲渡益	—	△3,855
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△895	△8,480
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,166	△39,256
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	55	10,474
その他	3,799	△9,845
小計	172,236	144,287
利息及び配当金の受取額	1,033	2,276
利息の支払額	△1,312	△1,372
法人所得税の支払額	△30,489	△27,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,467	117,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△242
定期預金の払戻による収入	7	1
有形固定資産の取得による支出	△53,515	△52,697
有形固定資産の売却による収入	26	510
無形資産の取得による支出	△20,590	△19,476
有価証券の取得による支出	△1,705	△1,361
有価証券の売却による収入	180	5,988
子会社又はその他の事業の取得による支出	△2,853	△142
事業等の譲渡による収入	—	8,298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,454	△59,121
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	677
短期借入金の返済による支出	—	△677
長期借入金の返済による支出	△30,670	△1,242
社債の償還による支出	△10,000	—
リース負債の返済による支出	△6,750	△7,331
自己株式の取得による支出	△3	△50,085
配当金の支払額	△23,455	△27,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,879	△86,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,347	10,215
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,481	△17,929
現金及び現金同等物の期首残高	200,770	205,251
現金及び現金同等物の期末残高	205,251	187,322

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当社グループは、当連結会計年度より以下の基準を適用しております。当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IFRS第3号	企業結合	「財務報告に関する概念フレームワーク」への参照を更新するもの

（セグメント情報）

（1）報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「心臓血管カンパニー」、「メディカルケアソリューションズカンパニー」及び「血液・細胞テクノロジーカンパニー」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品

報告セグメント	サブセグメント	主要製品
心臓血管カンパニー	TIS(カテーテル)	血管造影用ガイドワイヤー、血管造影用カテーテル、イントロドューサーシース、大腿動脈穿刺部止血デバイス、PTCA用バルーンカテーテル、冠動脈ステント、末梢動脈疾患治療用ステント、超音波画像診断装置、血管内超音波カテーテル 他
	ニューロバスキュラー	脳動脈瘤治療用コイル・ステント・袋状塞栓デバイス、虚血性脳梗塞治療用吸引カテーテル・除去デバイス 他
	カーディオバスキュラー	人工肺、人工心肺装置 他
	血管	人工血管、ステントグラフト 他
メディカルケアソリューションズカンパニー	ホスピタルケアソリューション	シリンジ（注射筒）、輸液ポンプ、シリンジポンプ、輸液セット、輸液剤、腹膜透析液、鎮痛剤、栄養食品、癒着防止材 他
	ライフケアソリューション	血糖測定システム、ペン型注入器用注射針、インスリンポンプ、電子血圧計、電子体温計 他
	ファーマシューティカルソリューション	プレフィルドシリンジ製剤製造受託、製薬企業向け製品（薬剤充填用シリンジ、医薬品同梱用注射針） 他
血液・細胞テクノロジーカンパニー	-	血液バッグ、成分採血システム、血液自動製剤システム、病原体低減化システム、遠心型血液成分分離装置、細胞増殖システム 他

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メデイカル ケアソリューションズ カンパニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	397,130	185,335	120,586	703,052	251	703,303
セグメント利益 (調整後営業利益)	93,227	23,604	20,841	137,673	△3,232	134,441
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△7,451	—	△8,487	△15,939	△125	△16,064
一時的な損益(注) 2						△2,415
営業利益						115,960
金融収益						1,062
金融費用						△2,961
持分法による投資損益						440
税引前利益						114,501
その他の項目						
減価償却費及び償却費 (注) 3	29,776	14,178	15,613	59,568	△686	58,882
有形固定資産及び 無形資産の増加額	31,954	15,285	17,599	64,839	4,390	69,230

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額251百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額△3,232百万円には、棚卸資産の調整額△301百万円、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△2,630百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益△2,415百万円には、条件付対価の公正価値変動△215百万円、事業再編費用△1,645百万円等が含まれております。
3. 減価償却費及び償却費には買収無形資産の償却費を含めております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メディカル ケアソリューションズカン パニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	480,610	191,749	147,605	819,965	243	820,209
セグメント利益 (調整後営業利益)	112,155	14,848	11,163	138,167	△142	138,025
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△8,951	—	△10,020	△18,972	156	△18,816
一時的な損益(注) 2						△1,876
営業利益						117,332
金融収益						2,649
金融費用						△4,016
持分法による投資損益						171
税引前利益						116,137
その他の項目						
減価償却費及び償却費 (注) 3	35,247	15,927	18,891	70,066	171	70,238
有形固定資産及び 無形資産の増加額	31,936	20,885	21,486	74,308	1,465	75,774

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額243百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額△142百万円には、棚卸資産の調整額349百万円、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△3,540百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益△1,876百万円には、技術資産の減損△1,775百万円、のれんの減損△3,563百万円、事業再編費用△2,541百万円、条件付対価の公正価値変動1,347百万円、事業等譲渡益3,855百万円等が含まれております。
3. 減価償却費及び償却費には買収無形資産の償却費を含めております。

(1株当たり情報)

当社の普通株主に帰属する基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定基礎は以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益(百万円)	88,813	89,325
当期利益調整額		
転換社債型新株予約権付社債による利益調整額 (百万円)	0	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	88,813	89,325
期中平均普通株式数(株)	756,209,050	750,614,507
普通株式増加数		
転換社債型新株予約権付社債(株)	100,892	—
ストック・オプション(株)	350,982	321,019
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	756,660,924	750,935,526
基本的1株当たり当期利益(円)	117.45	119.00
希薄化後1株当たり当期利益(円)	117.38	118.95

(注) 基本的1株当たり当期利益は、親会社の普通株主に帰属する当期利益を、連結会計年度中の発行済普通株式の加重平均株式数により除して算出しております。

（非金融資産の減損）

当連結会計年度に認識した減損損失5,338百万円は、以下の理由によるものです。

（1）血液・細胞テクノロジーカンパニーの自家生物製剤事業の減損

自家生物製剤事業について、グローバスメディカル社との譲渡契約に基づき当連結会計年度において売却目的で保有する資産及び直接関連する負債へ分類し、処分グループを売却コスト控除後の公正価値により測定したことに関わる減損損失 3,563百万円を計上しております。

公正価値は、グローバスメディカル社との譲渡契約における売却予定価格に基づいて決定しており、この公正価値測定はレベル3の公正価値に区分されます。

なお、「のれん及び無形資産」について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。また、当該事業の譲渡は2022年10月11日に完了しております。

（2）心臓血管カンパニーに属する一部生産の中止の決定に伴う技術資産の減損

当連結会計年度において、心臓血管カンパニーに属する一部製品の生産中止を決定したことにより、減損損失1,775百万円を計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。技術資産について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「その他の費用」に含まれております。

（重要な後発事象）

（重要な設備投資）

当社は、2023年4月12日開催の取締役会において、医療機器と医薬品を組み合わせたコンビネーション製品の開発製造受託（CDMO）や腹膜透析関連製品の生産体制を構築するため、甲府工場内（山梨県中巨摩郡昭和町）に建設を予定している新棟に、メディカルケアソリューションズカンパニーの製造ラインを設置することを決議しました。

新棟の建設に関する設備投資については、第108期第2四半期報告書「第一部【企業情報】 第4【経理の状況】 1【要約四半期連結財務諸表】 14. 後発事象」に記載のとおりです。

これらの決議等に基づく投資総額は、2023年5月15日公表のニュースリリース「テルモ、メディカルケアソリューションズカンパニーの新棟工場を建設」に記載のとおり、522億円を見込んでおります。なお、2025年度に竣工を予定しております。

当該設備投資による当連結会計年度の業績に与える影響は軽微です。

4. その他

生産、受注及び販売の状況

[1] 生産実績

報告セグメント	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) (百万円)	前期比 (%)
心臓血管カンパニー	510,684	31.5
メディカルケアソリューションズカンパニー	184,908	1.7
血液・細胞テクノロジーカンパニー	161,609	41.3
合計	857,202	25.2

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
2. 報告セグメントに含まれる製品は、14ページ「各報告セグメントの主な製品」をご覧ください。

[2] 受注状況

当社グループは見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

[3] 販売実績

報告セグメント	サブセグメント	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) (百万円)	前期比 (%)
心臓血管カンパニー	TIS(カテーテル)	319,396	21.0
	ニューロバスキュラー	70,915	21.9
	カーディオバスキュラー	54,489	15.1
	血管	35,807	29.4
メディカルケアソリューションズ カンパニー	ホスピタルケアソリューション	129,794	1.4
	ライフケアソリューション	24,726	△7.4
	ファーマシューティカル ソリューション	37,228	21.6
血液・細胞テクノロジーカンパニー	-	147,605	22.4
調整額		243	△2.9
合計		820,209	16.6

- (注) 調整額243百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。